

平成31年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援B型 事業計画書

1 はじめに

平成30年度は、PDCAサイクルの実施により、利用者一人ひとりに丁寧な支援を行うことが最重要課題であった。しかし、計画の設定、共有とそれに基づく実践、評価等各過程において不十分なことが多く、目標を達成したとはいえない結果となった。この課題は29年度から引き続いての事業所として大きな問題であったが、組織的に意識やノウハウが不足していることが根本的な改善が図られない原因と考えている。但し、年度途中で曖昧また形骸的な一部支援計画の見直しを行ったことや、不十分ではあるが支援記録の内容がやや丁寧になるなど少しずつ改善は図られていると感じている。31年度もこの課題を中心に取り組むことになるが、そのためには組織全体の意識改革をどのように行うかが重要になってくる。

一方、経営面では、30年度は効率的、長期持続可能な事業形態を模索した年であった。現状の事業形態を変更しないまま、利用実績の増加による収入増加を目指す方向と結論付けたが、このために31年度以降、計画的に利用者確保を図っていききたい。

2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型事業
- 3) 所在地 小平市大沼町2-1-5
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50名
- 6) 利用現員 71名（平成31年4月1日時点）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年 4月 1日
- 9) 職員
管理者 1名
サービス管理責任者 1名
職業指導員 5名（常勤換算4.4）
生活支援員 7名（常勤換算6.0）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

職員グループ別内訳

- ・あかしあグループ
職業指導員 3名（常勤換算2.4）
生活支援員 3名（常勤換算2.7）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）
- ・みどりグループ
職業指導員 2名（常勤換算2.0）
生活指導員 4名（常勤換算3.3）

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望のもてる生活。
- 4 基本方針 生き生きと働ける職場
日中活動の保障
豊かな生活の支援
個別支援計画に基づいた計画的な支援
安心できる将来への支援

5 実施事業

【あかしあグループ】

1) 就労支援事業

- (1) 傘の値付け
- (2) ダイレクトメール丁合、封入、封緘、シール貼り
- (3) 小平市報の折込
- (4) 公園清掃
- (5) 神社清掃
- (6) 入所施設清掃
- (7) 事務封筒製作
- (8) 緑化推進事業

2) 生活支援事業

- (1) 夕方生活支援事業 (週3日実施)

3) 行事

(1) 年間計画

- 4月 春のバスハイク
- 5月 小平市障がい者運動会
- 8月 夏のバスハイク
- 10月 秋の一泊旅行 (未定)
- 12月 お疲れ様会
- 1月 初詣

(2) その他

- 喫茶 (月2回)

4) 日 課

開所・送迎	8:30~9:00
朝礼	9:00~9:20
準備	9:20~9:40
作業	9:40~10:40
休憩	10:40~10:50
作業	10:50~11:50
片付け	11:50~12:00
昼食	12:00~13:00
昼礼	13:00~13:10
作業	13:10~14:10
休憩	14:10~14:20
作業	14:20~15:20
実績票記入	15:20~15:30
終礼・お茶	15:30~15:40
送迎・清掃	15:40~16:30
作業点検・記録等	16:30~17:00
職員打ち合わせ	17:00~17:30

【みどりグループ】

1) 就労支援事業

- (1) ポスティング作業
- (2) 作業マンション清掃
- (3) 事務封筒製作
- (4) 緑化推進事業

- (5) ダイレクトメール丁合、封入、封緘、シール貼り
- (6) 公園清掃
- (7) 資源回収

2) 生活支援事業

- (1) 生活支援プログラム (週3日実施)
- (2) 夕方生活支援事業 (週3日実施)

3) 行事

(1) 年間行事

- 4月 永年勤続表彰式
- 5月 障がい者運動会
- 6月 行事
- 7月 行事
- 8月 川遊び、みんなの音楽会
- 9月 行事
- 10月 秋の一泊旅行 (未定)
- 11月 行事
- 12月 忘年会
- 1月 成人を祝う会
- 2月 行事
- 3月 行事

(2) その他

音楽教室 (月2回)

4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
作業	9:50～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～11:50
片付け	11:50～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

6 重点課題・目標

(1) 活動

【各グループ共通】

- ① 一人ひとりの利用者のニーズに沿った支援の実施
(支援のサイクル)
 - (ア) 支援計画の共有とそれに基づく支援実施
 - (イ) 支援経過の記録と情報共有
 - (ウ) 意見交換等による支援経過の検証
 - (エ) 必要に応じた計画の見直し

- (必要なニーズまた想定されるニーズ)
- (ア) 健康に関する問題
 - (イ) 精神的な安定に関する問題
 - (ウ) 作業に関する問題
 - (エ) 身体的な機能に関する問題 等

《具体策》

ケース記録記入時に全支援目標についての記載を徹底することで、支援計画共有の徹底を図る。また、施設長及びグループリーダーの関与を増やし、記載内容やミーティングでの共有についてチェックを徹底する。

② 作業活動の充実

ア、自助具の開発及び改良、道具の工夫等による作業支援

一人ひとりの機能を補完し、作業の効率や正確性の向上を行うための道具の活用や自助具の開発に取り組む。また、このために月1回以上担当者からの提案を行う。

イ、安定した作業提供

利用者の作業が途切れないよう受注先と密に連絡を取り、計画的に作業を受注する。

ウ、新規作業の開拓

担当者が月に1か所以上、電話または訪問により営業活動を行い、利用者にあった新規作業の開拓を行う。

エ、作業収益の増加

ア～ウの取組により作業収益の増加を行う。

就労支援事業収入目標額 12,300,000円

(30年度実績 12,200,000円 2月末時点見込額)

③ 生活支援の充実

健康問題や将来の生活、精神面の安定など作業活動以外の生活全般に係る課題について、関係機関と連携の上、支援を行う。

【みどりグループ】

④ 就労のステップアップを目指す利用者のスキルアップ

みくま（就労継続支援A型）やバウム（就労継続支援B型）など、より就労支援に力を入れた事業所へのステップアップを望んでいる利用者に対して、コミュニケーション、作業態度、能力等の向上に向けた支援を行う。

(2) 人材育成

①グループリーダー

(ア) 各職員の行動に関心を持ち、事業方針に沿った指導や意見を行う。

(イ) 事業計画および支援計画の進捗状況を把握し進捗状況を随時確認し全体で共有する。

(ウ) 活動全体を視野に入れて業務を行う。

(エ) 現場職員と施設長の橋渡しの役割を担うと共に、グループ間の情報共有を密にとる。

(オ) ケース記録、ミーティング記録の内容や記載漏れについて確認を徹底する。

(カ) 利用者家族と連絡調整を通じて、信頼関係を構築する。

②全職員

(ア) 月1回の事業所会議にて事業計画を振り返り、業務にあたる。

(イ) 利用者の心情理解、リスク管理、支援技術など基本的スキルの向上。

(ウ) 伝達や報告の手法、ケース記録・ミーティング記録の作成など情報共有に必要な

なスキルの向上。

(エ) 活動内容や支援方法に対して自己の意見を表明し、積極的に事業に関わる姿勢を持つ。

(3) 経営管理

①月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行するとともに、試算結果から課題が見えた場合は迅速に対応する。

②経費削減を徹底する。

(ア) 未使用スペースの消灯等節電の徹底。

(イ) 整理整頓により、備品、消耗品等の在庫管理を徹底する。

(ウ) 印刷物については必要枚数の確認や、枚数の多いものについては試し刷りを行うなど無駄な印刷を行わないようにする。

7 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

8 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

9 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員及び生活支援員

救助担当 職業指導員及び生活支援員

10 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。